

## 公共事業再評価調書

所管課：道路街路課

<b>1 事業概要</b>	事業名：都市計画道路3・2・10号豊見城中央線街路事業(4工区)				
	事業種別：街路事業	事業主体：沖縄県	当初事業期間：H20～H33		
	事業箇所：豊見城市	根拠法令：都市計画法	事業期間：H20～H33		
	総事業費(百万円)：6,794	費用内訳：補助率 9/10	事業量：L=680m W=30m		
(整備目的)	当該路線は、豊見城市中心部と那覇市を連結し、豊見城市の骨格を形成する幹線街路として重要な路線である。しかし、現道は幅員が狭く、また、豊見城市を含め南部圏域から那覇都心部への流入路線となっており、交通が集中し交通渋滞が慢性化している状況である。 そのため、道路拡幅改良し慢性化している交通渋滞の緩和と安全で快適な歩行者空間の形成を図るものである。				
<b>2 再評価該当項目</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着手 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他( )				
<b>3 再評価に至った主な要因</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他( )				
(具体的理由)	事業区間の地権者が、補償額や補償内容に対する不満を示しており用地取得が難航しているため。				
<b>4 事業の進捗状況</b>	項目	事業費(百万円)	整備(m)	用地取得(千㎡)	用地取得(筆)
(H29.3末時点)	計画	6,794	680	23.1	158
	実施済	4,954	0	20.2	136
	率	73%	0%	87%	86%
<b>5 事業効果の評価指標</b>	① 走行時間短縮	54,373	① 事業費(全事業費の合計)	6,422	
	② 走行経費低減	3,989	② 維持管理費	100	
	③ 交通事故減少	100			
(検討年50年)	総便益	58,462	総費用	6,522	
(基準年H29)	基準年換算(B)	22,307	基準年換算(C)	7,238	
(単位:百万円)	費用便益比 (B/C) = 22,307 / 7,238 = 3.08				
<b>6 事業を巡る状況の変化</b>	① 社会・経済： ・平成27年4月より、当該路線の付近にゆたか小学校が開校した。 ・当該路線の起点側付近に豊見城市新庁舎が平成30年3月完成予定。 ・平成28年度に豊見城市中心市街地土地区画整理事業が完了している。 ② 地元・自治体： ・平成19年6月及び平成23年11月に豊見城市から当該路線の早期整備について要請があった。 ③ 利害関係者： ・一部難航している地権者がおり、任意交渉と並行して土地収用法に基づく取得も視野に入れた対応を進める。				
<b>7 事業の必要性・効率性</b>	① 事業の必要性・緊急性・有効性など 当該路線は、豊見城市中心部と那覇市を連結する幹線街路として重要な路線である。しかし、現道は幅員が狭く、交通渋滞が慢性化している状況であることから、交通渋滞の緩和と安全で快適な歩行空間の形成を図るため早急に整備する必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減) 一部補償交渉が難航している地権者がいるが、任意交渉と並行し土地収用法に基づく取得も視野に入れた対応を進めており、平成28年度末には事業の進捗率が用地取得ペースで87%となっていることから、現計画の推進を図ることが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況 事業効果は発現されていない。				
<b>8 今後の対応・見通し</b>	① 事業計画等： 現計画どおり事業を進め、平成33年度の完成を目指す。 ② 対住民関係： 用地交渉が難航している地権者に対しては、土地収用法を視野に入れた対応を検討する。また、用地取得済み箇所の工事を推進し、早期の事業効果発現を目指す。 ③ 執行体制： 現在の体制で取り組む。				
<b>9 対応方針</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				